

セフリ 訪日外国人に救いの手

GPS地図アプリに英語版

登山・アウトドア地図アプリ「ヤママップ」を展開しているセフリ（福岡市中央区）は、インバウンドの旅行者が気軽に使えるように、日本地図を網羅したヤママップ英語版を開発した。9月をめどにスタートさせる予定。衛星利用測位システム（GPS）機能を活用し、手持ちのスマートフォンを使えるのが特徴。観光地での訪日外国人の道迷いに救いの手を差し伸べる狙いだ。

ヤママップは、携帯電話の電波が届かない山の中でも、スマホに搭載されているGPS機能を活用して、現在位置が確認でき

る地図アプリ。20歳から山登りに夢中になったセフリの春山慶彦社長が「山での遭難や道迷いの事故を軽減したい」と、GPSの地図アプリを開発した。

これまでも、山登り愛好家の中では、専用のGPS機器を持つて山登りするケースはあったが、「端末は3万～10万円と高額で、誰もが気軽に使えるモノではなかった」（春山社長）。ヤママップは手持ちのスマホにアプリをダウンロードすれば使用可能で、通信料以外は費用はかからないといい、プリインストールするスマホメーカーも出るほど認知を高めてきた。

また、ヤママップは、パソコンにダウンロードした地図をプリンターで出力し、紙の地図としても使うことができる。地図情報は、適時更新しており、旬な情報を得ることができる。

さらに、マイページを設け、ルートや活動時間・標高・写真・感想など、大切な旅アルバムを簡単に共有できる機能もある。地図ごとに情報がまとまっているので、公開されている他のユーザーの記録を参考にしたり、ユーザー同士で情報交換したりなど、登山・アウトドアの計画や準備にも役立つという。2014年度グッドデザイン賞を受賞し、同賞ベスト100にも選出された。

春山社長がヤママップ英語版を開発したのは「国内には魅力的

日本語の観光地図の前で行き先を探す外国人観光客—東京都中央区



な観光地がたくさんあり、滞在型観光を増やすためにも、インバウンド向けのアプリが必要」と考えたからだ。起業する前は旅行業界に身を置いていたといい、外国人観光客に対するサービス向上への意識も高い。

ヤママップ英語版がリリースさ

れれば、訪日外国人が使い慣れたスマホで地図を調べられ、便利なツールになる。春山社長は「ヤママップ英語版も課金する予定はない」としており、「ヤママップギア」と名付けた登山・アウトドア用品の比較サイトで収益を稼ぐ戦略だ。